

せたがや 町総連だより

第18号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林4-31-9
ボライト第2ビル2F
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 安田 憲 吾
編集 情報誌編集委員 会 誠
編集委員長 鈴木

安全・安心な世田谷の実現を目指して

世田谷区長 熊本 哲之



皆様、明けましておめで
とうございます。日頃より、
区政運営にご理解、ご協力
いただきまして、この場を
お借りして厚く御礼を申し
上げます。

今日、新しい年を迎え、
80万人の人口を抱える自治
体のリーダーとして、改め
て私に課せられた重責を痛
感しております。地域の皆
様のご期待に沿うよう、鋭
意努力していくことを再び
心に誓ったところでござい
ます。21世紀の新しい時代
の区民要望に的確に且ス
ピーディに答えられる区政

の実現に向けて、従来の古
い慣習を脱し、「区政の流
れを変える」ことを基本に、
昨年6月の区議会第2回定
例会の招集挨拶におきまし
て、私の区政運営に向けて
の考え方を申し上げました。
それに基づいて昨年より
様々な取り組みを行ってき
ております。

先ず「区民の目線」に
立った区政の徹底した刷新
を図っていくため、外部の
方々による「世田谷区政策
評価委員会」を発足し、あ
らゆる事業の見直しを進め
てまいりました。また、「
聞く耳を持つ区長」の一
環として、「たらい回し」
「先送り」を解消し、速や
かに区民要望に添えていく
ための「すぐやる課」をス
タートさせ、現在も順調に
業務をこなしております。
同様に、タウンミーティン

グと称し、昨年から、私自
ら地域に向向いております
ので、その折は忌憚のない
ご意見、ご提案をいただき
たいと思います。

また、平成17年度から新
たな「世田谷区基本計画」
がスタートいたしますが、
当面の区政課題につきまし
て「経営方針」を策定し、
「魅力的で安全安心な世田
谷の実現」を第一に、幾つ
かの課題に着手しており
ます。

その内、緊急課題の一つ
に、区内の犯罪発生件数の
増加に伴う防犯対策の強化
が挙げられます。内容も一
層凶悪化、低年齢化が進ん
でおり、警視庁の犯罪マッ
プを見ますと、世田谷区は
空き巣発生率都内ワースト
1とのこと。
そこで、地域の方々の連
携により、「世田谷24時間

安全パトロール」をスター
トいたしました。言うまで
もなく、犯罪を未然に防ぎ、
安全で安心なまちを取り戻
すには町会・自治会をはじ
めとした皆さんの自主的な
協力なくしては成り立ちま
せん。住民同士の「声かけ」
や「目配り」などお互いの
連携意識が強固でコミュニ
ティの絆の固い地域では、
犯罪が起こりにくいと聞い
ております。世田谷区とし
ましても、皆さんのパト
ロール活動への支援として
助成金の募集をしましたと
ころ、予想以上の申し出が
あり、区民の防犯意識の昂
まりに、大変心強く感じま
した。今後もこうした区民
の方々の活発な活動に対し、
必要な手段を講じてまいり
たいと考えております。

災害は時と場所を選びま
せん。いざという時、身近
な地域での助け合いが一番
です。神戸市長田区では、
「阪神・淡路大震災」の発
災直後、消防車の到着前、
地域の人たちが協力してパ

ケツリレーを行い、火を消し止めたことは、日頃の良好なコミュニティの賜物として、その後も、まちづくりのエピソードとして語られています。パトロール以外にも、「各種募金活動」「放置自転車対策」をはじめとして区政のあらゆる分野におきまして、町会・自治会の方々のご理解とご協

力をいただいております。世田谷区としても、こうした状況への適切な対応を考え、町会・自治会の方々のご尽力に見合った支援のあり方を検討してまいります。年が明け、誰もが世田谷区に住む喜びを感じることができるよう安全で安心なまちの実現を目指し、本腰を入れて取り組んでまいり

ますので、引き続き皆様がたのご協力を賜りますことをお願い申し上げます。結びに、町会・自治会のみならずのご発展と皆様がたのご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたしまして、簡単ではございますが、新年の挨拶とさせていただきます。

会・自治会に対する認知度は市民活動の中で最も高いが、活動の実態が区民によくわからないという結果が報告されています。町総連ではこれまでポスター、チラシの作成や区民まつり会場でのPR等を行ってきましたが、もつと町会・自治会の目的や活動等の内容を周知し、理解を深めることが大切であると考えています。良好な地域社会を形成するためにも、町会・自治会への加入促進に一層のご努力をお願いいたします。

年頭にあたって

世田谷区町会総連合会 会長

安田 憲 吾



びを申し上げます。

平素から町会総連合会の運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は平成13年7月の総会で会長に就任し、現在2期目に入っております。この間皆様には大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

次第でございます。昨年とは一緒に永年に亘り町総連の発展のために

世田谷区町会総連合会に加盟する196の町会・自治会の皆様、平成16年の新春を迎え謹んで新年のお慶

びを申し上げます。平素から町会総連合会の運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

尽力いただいた副会長3名が急遽退任し心配をいたしました。幸いにも立派な後任の副会長を迎え意を強くしているところでございます。

さて、私共町会・自治会にとつて、当面する課題は町会未加入世帯に対する加入の促進であります。平成12年に実施した世田谷区民意調査によりますと町

としては、災害に対応した防災訓練と併せて、その体制づくりが重要であると考えております。また、犯罪では都内の犯罪発生件数は、増加の一途をたどり、世田谷区は空き巣被害が都内でワースト1になったのをはじめ強盗、ひったくり、車上ねらい等の発生件数が上位にランクされ、町会・自治会にとつても深刻な問題となっております。区はこのような状況を踏まえ、昨年7月地域安全パトロール隊が発足し、24時間体制で治安の確保に努めています。空き巣件数の減少等相当の成果が上がっているとのこと、大変喜ばしく思っています。町会・自治会の一部では以前から町内の巡回パトロールを行っています。これからは警察や行政による対策だけでなく、商店会や地域ボランティアと協力して、地域ぐるみの活動を展開していくことが大切であり、また住民の自主的なパト

ルールに対する区の活動物品の助成制度など活用して、パトロールの輪を広げていきたいと思っています。

町会・自治会は募金活動への協力をはじめ、資源分別回収事業への協力、防災訓練の実施、放置自転車の撤去、交通安全運動への参加、青少年健全育成事業の実施等多岐に亘り活動し、

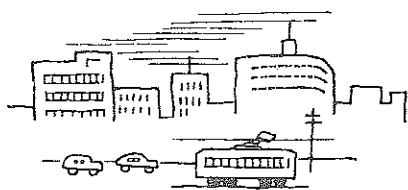
地域のまちづくりに貢献しています。私は熊本区長のもと新たな出発をした世田谷区をはじめとする行政機関との密接な連携を保ちながら、地域の様々な課題の解決や福祉の増進に努めてまいりたいと存じますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

ところで、この度「町総連だより」第18号の発行にあたって、編集委員の大幅な交替があり、新しく6名の新進気鋭の委員（12頁編集委員名簿参照）を迎えました。平成7年2月の創刊より8年間に亘り編集委員長としてご尽力いただいた

渡辺三郎さんをはじめ清水庄太郎さん、宗晴さん、宮崎春代さんには心から感謝申し上げます。「町総連だより」は新しい編集体制のもと、会員の皆さんに親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

最後に、会員各位の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。新一年のご挨拶いたします。

最後に、会員各位の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。新一年のご挨拶いたします。



世田谷地域

地域情報

よい環境をもち育つよいまち

池尻地区三宿自治会会長 佐々木 國 男

世田谷区における環境まつりが毎年実施されており、昨年も五月晴れのもと、盛況に執り行われ、世の移り変わりと共に、環境も又変化して行くことは、生きていく上においてやむを得ないことと存じますが、その殆どが人間のなせる業ではないかと思えます。私は昭和3年4月に小学校に入学する1ヶ月前の3月に、麻布十番から現在の三宿に移転してきて、田舎者の母の第一声は「何でこんな田舎に越してきたの」であります。私には

遊ぶところがいっぱいです。川で泳ぎ（淡島、大石橋付近）、山で遊び夕暮れ多聞寺橋周辺でトンボ取り雀取り、夏は日が暮れると、母は庭先でゴミを燃やしながら（ゴミをなるべく出さない）、子供たちは「たらい」で行水をさせられました。



三宿神社に隣接する現在の幼稚園付近は清水がこん

こんと湧いていました。騎兵山（現在の東邦病院）付近に清水が流れ、赤い「沢がに」がたくさんいて遊ぶことには不自由しません。

戦地で多くの友を亡くし、自分は無事に帰還できました。昭和22年2月に再編成された消防団へ、町のために入団（当時入団辞令は区長田村保氏）しました。

昭和39年10月東京オリピック開催のため246道20mが40mに拡幅、同44年5月1日は高速度路建設工事のため玉川電車を廃線（世田谷線のみ存続）。

昭和23年に開校した新星中学校もその7年後にできた池尻中学校と統合して新中学校になります（平成16年4月）。

私たちの町は昭和63年「いつまでも安心して住み続けられる町」を目

指してのまちづくりを行なっております。おかげさまで町の様子もすこしづつ変化してきました。

長年の懸案であった小学校前の通学路も拡幅（地域小学校により開通式）され、消防団格納庫も新設されます。地域小学生と緑道の清掃、中学生とポイ捨てキャンペーンの実施、町いっばいに花を咲かせましょう運動などに取り組んでいます。



北沢地域

災害に強い大原北町会会館

平成16年には統合による新しい中学校、新しい消防署三宿出張所も開設します。246道に面したマンションの屋上（13階）から三宿の町を見ると、意外と緑が多いのを見て嬉しく思いました。

交流も盛んになってきました。子供たちに種々の体験を少しでも善い思い出を与えたい、よい環境を守り育てていかなくはならないと存じます。

昨年秋、叙勲を賜りました。陛下からは「これから健康に留意され地域のた

松沢地区町会連合会会長

堀池 有

環状7号線から井の頭通りを渋谷方向に向かい、数百米進んだところを左折した住宅地に瀟洒な建物がある。これが平成15年9月に完成した大原北町会が誇る町会会館である。

建設にあたりご苦労された磯副会長（会長代行）に会館内部をご案内していただく。

先ず驚いたことは、この建物、防災会館として相

応しい要素が備わっていることだった。耐震等級ランク3、耐火等級ランク4と地震・火災に強い設計で建てられている（「THE・地震展」推奨の設計）。また、会館内部には、災害時

用非常食が会員の2000名分が備蓄され、しかも、それぞれに有効期限が明記され、新しい製品との入れ替えなどメンテナンスも容易にできる工夫がなされて

いる。当然のことながら会館は、会議に利用することが第一目的ではあるが、会員相互の親睦を図る場としてもいたるところに利用しやすいような考慮がなされている。会館は、すべてバリアフリーで車椅子でも容易に入りできる構造になっている。

会館の新築に到るまでには、紆余曲折があり、一時

建設を諦めたこともあったが、地主・役所・建設会社などの絶大な協力があって完成することができた。

大原北町会は、区内に14ほどある地方自治法人の一つで、会員加入率90%以上とのことで、会員名簿の完備、詳細な防災マップなどを拝見しただけでも会員のコミュニケーションの充実が図られていることがわかる。

筆者の感想としては、町会会員の総意が大きな活力となったことは当然のことではあるが、そこまで会員を指導された役員各位の並々ならぬご努力があればこそと痛感し、感銘した次第である。

また、会館の近くには、地域の住民が名付けたGOGO公園があり、そこには、100㎡の水槽、D型可



搬ポンプ収納庫、災害時用トイレ専用配水管、災害時蓋を開ければ炊飯用備品が収納された腰かけ等が完備されており、正しく防災公園と呼ぶに相応しい。

このように安全で安心して生活できるまちづくり、災害に強いまちづくりに町ぐるみで努力されているところ、町会のあるべき姿ではなからうか。そんなことを感じながら会館を辞した。

街の落書きと闘う

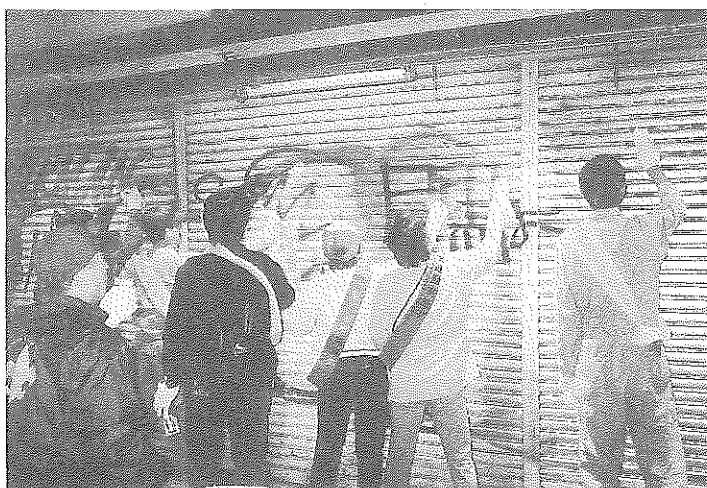
街のあちこちに落書きが目立つようになり、大きな社会問題となっており、下北沢のような賑わいの町は、特に落書き被害が酷すぎます。

落書きは汚いばかりではなく、他人の所有物を破壊するレッキとした犯罪です。そのまま放置しておく、この街はこのような犯罪を軽視していると思われ、次に万引きや軽犯罪が、そして凶悪犯罪へと進んでいきます。落書きは治安悪化の入口なのです。

ですから、芽のうちに摘み取らなくてはなりません。下北沢界隈では、書かれた被害者が何回か消した末に、『消してもまた書かれてしまふ』と諦めていましたが、

最近では、
「書かれたら何回でも繰り返し消す」と前向きな姿勢に変わってきております。

私たちは地元
の商店街や住民の人たちが中心になり、『落書き消し隊』を組織し、少しでも多くの落書きを消す活動を行なっております



下北沢落書き消し隊長
(北沢2丁目南町会副会長
下北沢南口商店街振興組合理事長)
吉田 罔 吉

が、全体の被害数が多すぎてなかなか形として成果が外面的には見えません。

その一環として10月20日

夜遅く、『大規模消し運動』を行い、地元の人々が約70名と街に来る若者たち約60名が参加しました。当夜の

模様は昨年11月20日のNHKテレビ『ご近所の底力』で取り上げられ、全国的にこの活動が知れ渡ったと思います。

当夜は、南口商店街の一部の80ヶ所を完全に消しましたが、街全体の12%にしかならず、まだまだ先の長い話です。

今後も、『自分たちの街は自分たちで守る』の気持ちをもって、諦めずに息の長い活動を展開していきます。お一人でも多くの方々のご理解とご参加を望んでおります。

玉川地域

防犯パトロール実施中

奥沢交和会理事長 原田正幸

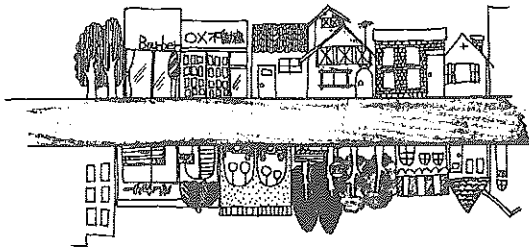
防犯部長 郡山弘文

東急目黒線、奥沢駅前の噴水広場には、「守ろうよわたしの好きな街だから。防犯パトロール実施中。奥沢交和会・玉川警察署」と大書した横断幕がはためいております。

昨年9月10日、同所に於いて、玉川警察署ご指導のもと、町会役員など多くの方々のご参加を頂いて、発会式が行われました。

当会は世田谷区の南端にあり、奥沢1・2・3丁目地域の町会で、会員5000世帯・班構成600組です。静かな住宅街のためか被害が多く、玉川警察署管内でワースト上位です。

7月理事会で、町内防犯の自主パトロールが議題と



野係長様と板谷玉川防犯協会長様のご指導は、「もし不審者を発見した時には、110番通報してください。」であり、自分たちで犯人逮捕しようとしないうこと、ケガをしないことをお互いに話し合いました。空き巣やひったくりの被害は、静かな住宅街で、犯人の逃げ道になる駅に近く、警察や行政の隣接地に多い

砧地域

町会・自治会活動の基本的な考え方

喜多見北部町会会長 澤田俊一

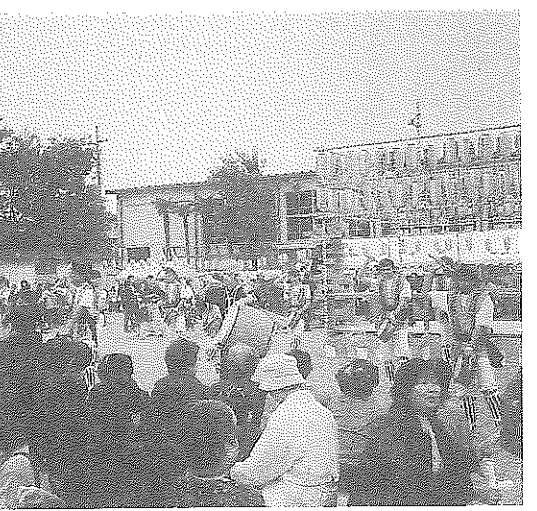
由です。奥沢もそのような町で、3つの駅に囲まれ、3警察署と3区に接しております。

区内各校のPTA・パト

ロールは痴漢対策として始められて以来、数十年の実績があり、そのご努力に敬意を表します。当会の防犯パトロールは理事役員が分

担して始まりましたが、これを契機として、町内の近所付き合いが深まり、防犯意識が昂まるよう願っております。

困難で、行政サービスの一部を効率的な民間に依存せざるを得ない状況となったからです。これらの傾向は欧米先進国ではかなり以前からでありま



今日「町会・自治会」という「組織」は何となく住民にとって身近に感じますが、一面その活動の実態や住民個人への関わりについては、町会・自治会（以下「町会等」という）に深く関わるもの以外一般的に無関心なことは正に痛感されているところでは、しかし今日におけるその「存在意義」はその目的・活動によって極めて重要と考えます。

まず、大方の町会等は会員相互の親睦と防犯・防災環境、青少年、福祉、文化

募金、行政広報などの活動を行っております。更に一部の町会等では都市計画、日赤、公園管理などを行っており、これらの業務範囲は正に地方自治の全ての部門に関与するものです。

一般にボランティア活動は単一の事業ですが、町会等の活動範囲は正に「総合的なボランティア」と称するものでしょう。

さて、ここ数年政府に代わって国際貢献を行うNGO（非政府組織）や行政に代わって公益的事業を行うNPO（非営利組織）等の

ように本来国や行政機関が行うべき公益的事業を民間団体が代わって実施する方向にあり、しかも加速しております。更にNPO法をはじめ各層の行政が制度化しその範囲を広め、財政上も支援しております。

その理由は、国際化・情報化による価値観や住民要望の多様化、高齢少子化などによる社会構造の変化に対し「公」は適時・適切な行政サービスの提供が追い付かなくなり、加えて財政難・行政効率化のためその必要性を認めながら対応が

従って好むと好まざるとに関わらず、今後は端的に社会生活上、身近で軽易なことは行政や公は当てに出来ないこと象徴であります。

地域住民にとって安心して文化的な質のよい生活環境は誰もが望むところですが、このような時代に「総合的なボランティア」と申し上げた町会等の活動はどのような「位置づけ」「理念」のもとに行なうべきか正に今日問われている命題です。

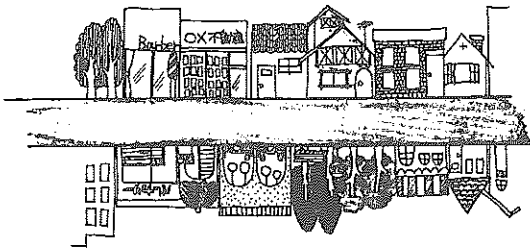
先に述べた各種の活動は大部分は住民からの必要性から必然的に発生したものでありますが、近年行政等からの要望によるものが質・量共に増大の傾向にあります。住民の利益と町会等活動の限度とのバランス上どう受け止めるかも町会運営にとり重要な課題となっております。

そこで基本に立ち返って

模様は昨年11月20日のNHKテレビ『ご近所の底力』で取り上げられ、全国的にこの活動が知れ渡ったと思います。

当夜は、南口商店街の一部の80ヶ所を完全に消しましたが、街全体の12%にしかならず、まだまだ先の長い話です。

今後も、『自分たちの街は自分たちで守る』の気持ちをもって、諦めずに息の長い活動を展開していきます。お一人でも多くの方々のご理解とご参加を望んでおります。



玉川地域

防犯パトロール実施中

東急目黒線、奥沢駅前の噴水広場には、「守ろうよわたしの好きな街だから。防犯パトロール実施中。奥沢交和会・玉川警察署」と大書した横断幕がはためいております。

昨年9月10日、同所に於いて、玉川警察署ご指導のもと、町会役員など多くの方々のご参加を頂いて、発会式が行われました。

当会は世田谷区の南端にあり、奥沢1・2・3丁目地域の町会で、会員5000世帯・班構成600組です。静かな住宅街のためか被害が多く、玉川警察署管内でワースト上位です。

7月理事会で、町内防犯の自主パトロールが議題と

奥沢交和会理事長 原田正幸
防犯部長 郡山弘文

なり、防犯部が中心になって成案し、9月理事会で決定しました。町内を3地域に分け、2人グループでパトロールします。玉川警察署生活安全課元



野係長様と板谷玉川防犯協会長様のご指導は、「もし不審者を発見した時には、110番通報してください。」であり、自分たちで犯人逮捕しようとする事、ケガをしないことをお互いに話し合いました。

空き巣やひったくりの被害は、静かな住宅街で、犯人の逃げ道になる駅に近く、警察や行政の隣接地に多い

りを楽しんでいることです。
上北沢地区町会自治連合
会会長を務める長島さんの
人徳もあるのでしょうか、
まちづくりが大変上手な会

長さんであります。その秘
訣は人を集めてよく酒を飲
む、後継者も酒を飲み交わ
しているうちに生まれてく
るそうです。「人生いつも

楽しくやりましよう」が口
ぐせです。また難しいこと
は言わず、いつもニコニコ、
おごった顔は見たことがあ
りません。

まつりを通して人と人と
の絆、そこから生れる協調
こそが、これからのまちづ
くりの原点ではないでしょ
うか。

「みんなですごうまちづ
くり」

行政情報

安全安心まちづくり支援事業

生活文化部市民活動推進課

私たちの身の回りでは、
空き巣・ひったくりなどの
犯罪が増え、多くの区民の
方が被害を受けています。
安全で安心して暮らせる
「まち」を築くことは、全
ての区民の共通の願いです。
区では、平成14年6月に
「世田谷区安全安心まちづ
くり条例」を制定し、条例
に基づき「安全安心まちづ

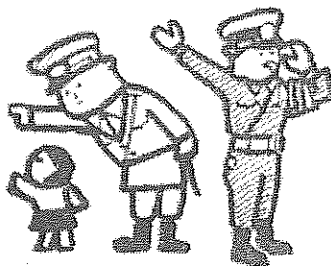
くり協議会」を同年10月に
設置しました。
2回開催した協議会では、
安全安心まちづくりについ
て様々な立場の方から多く
の意見・提案をいただきま
した。その意見・提案を受
け、また、熊本区長の指示
により、昨年6月末から犯
罪のない「まち」にするた
め、24時間安全パトロール

をはじめ、区民の自主的な
活動支援助成、公園パト
ロール、住宅防犯相談など
の施策の展開を図っており
ます。
施策の中では、区民の自
主的な活動の支援援助には
多くの活動団体の応募があ
り、地域での活発な防犯活
動が行われております。
また、啓発活動の一つと

して、昨年12月にはシンポ
ジウムを開催し、多くの方
に安全安心まちづくりに理
解を得るなど、できる限り
の取り組みを行ってきてお
ります。
本年も昨年に引き続き、
24時間安全パトロール、区
民活動団体支援助成、啓発
活動を進めてまいります。

犯罪を未然に防ぐには、
地域住民がお互いに見守り
あうことが大切です。
これからも、区民や警察
等の関係機関と協力して、
安全なまちづくり施策を展
開します。

犯罪発生情報の区民への情
報提供、活動団体の状況な
どを区のホームページを活
用してお知らせできるよう
準備を進めております。
区民の方々が身の回りの
安全を的確に把握する安全
チェックリストを盛り込ん
だ防犯マニュアルを作成し、
講習会・研修会に活用して
いただきたいと思います。お
ります。



町総連ニュース

正副会長会

▼4月4日

1. 平成15年度第1回理事会の役割分担の件
2. 永年勤続者表彰候補者の推薦の件
3. 会員名簿発行の件
4. 幹部職員人事異動の件
5. オウム真理教問題シンポジウム報告書の件
6. NHKテレビ放映の件

▼6月11日

1. 役員改選(案)の件
2. 総会スケジュールの件
3. 総会役割分担の件
4. 永年勤続者表彰の件
5. ふるさと区民まつり参加の件
6. 都町連常任理事会報告の件
7. 世田谷区健康危機管理連絡会委員推薦の件

▼7月17日

1. 役員改選(案)の件
2. 総会等の進行と役割分担の件
3. 議事録署名人選出の件
4. 永年勤続者表彰各地域代表の件
5. ふるさと区民まつり出店の件
6. オウム講演会開催の件
7. 基本計画審議会委員推薦の件
8. ごみ減量・リサイクル推進連絡会議委員の推薦の件
9. 東京外かく環状道路計画の件

▼8月26日

1. 平成16年度予算等要望の件
2. ふるさと区民まつり反省の件
3. 平成16年度総会の件
4. 高橋副会長退任の件
5. ありがとう賞休止の件
6. 安全安心まちづくり活動助成追加募集の件
7. 臨海斎場完成式と見学会の件

▼11月18日

1. 出張所のあり方の件
2. 資源持ち去り禁止対策の件
3. 歩きタバコ対策の件
4. 役員研修会実施の件
5. 安全・安心まちづくりシンポジウム開催の件
6. 永年勤続者表彰の件
7. 平成15年度活動費配分額及び徴収会費額の件

▼6月18日

1. 役員改選(案)の件
2. 総会スケジュールの件
3. 総会の役割分担(案)の件
4. 永年勤続者表彰の件
5. ふるさと区民まつり参加の件

▼5月7日

1. 各地域町会連合会の総会日程の件
2. 東京都町会連合会長表彰候補者推薦の件
3. 常任理事会開催日程の件

▼10月8日

1. 砧地域町会・自治会連合会会長変更の件
2. 平成15年度全国自治会連合会東京大会開催の件
3. 役員懇談会開催の件
4. 新年親睦交流会開催の件

▼4月23日

1. 平成14年度事業報告並びに決算報告の件
2. 平成15年度事業方針(案)並びに予算(案)の件
3. 理事会役割分担の件
4. 総会の件

▼7月17日

1. 役員改選(案)の件
2. 理事会、総会の進行と役割分担の件
3. 議事録署名人選出の件
4. 永年勤続者表彰各地域代表の件
5. ふるさと区民まつり町総連テント当番割り振りの件

▼10月31日

1. 役員改選(案)の件
2. 総会スケジュールの件
3. 総会の役割分担(案)の件
4. 永年勤続者表彰の件
5. ふるさと区民まつり参加の件

常任理事会

行政と役員との懇談会 四川賓館

理事会

▼4月23日

1. 平成14年度事業報告・決算報告・会計監査報告の件
2. 平成15年度事業方針(案)・予算(案)の件
3. 総会の件
4. 永年勤続者表彰の件
5. 平成15年度活動費配分及び徴収会費額の件
6. 家庭系パソコン回収リサイクルの件

総会

▼7月17日

1. 平成14年度事業報告の件
 2. 平成14年度決算報告の件
 3. 平成14年度会計監査報告の件
 4. 平成15年度事業方針(案)の件
 5. 平成15年度予算(案)の件
 6. 役員改選(案)の件
以上が提案され原案どおり承認された。
- ついで永年勤続者126名の表彰が区長をはじめ来賓多数臨席のもとに行われ、安田会長より各地域代表に感謝状が手渡された。

会計監査

▼4月4日

正副会長、会計立ち会いのもと、3人の監事により平成14年度に係る会計監査を行い、適正に執行されていることが認められた。

町総連だより編集会議

▼9月3日

1. 編集体制の件
2. 編集方針の件

▼9月26日

1. 委嘱状の交付
2. 前回編集会議申し合わせ事項
3. 18号編集の件

▼11月14日

1. 18号編集・校正の件

▼12月17日

1. 18号編集・校正の件

東京都町会連合会総会、表彰式

▼6月20日

総会では平成14年度事業報告、決算報告、監査報告、平成15年度事業計

画(案)、予算(案)が承認された。引き続き表彰式が行われ、後藤正三副会長が東京都町会総連合会会長表彰を受けました。

全国自治会連合会

東京大会

▼11月3日

毎年開催している全国自治会連合会の大会が、平成15年度は東京で開催された。

都庁5階大会議室を会場に式典、表彰が行われた後、郷仙太郎氏(前東京都副知事、青山僧氏)が今年江戸開府400年にちなんで、「江戸・東京400年と今日の日本」と題する講演がありました。最後に会場を京王プラザホテルエミネスに移し交歓会が開かれ、町総連より正副会長が出席し、全国29道県(約400人)の町会・

自治会の仲間と歓談し、情報交換を行いました。

平成16年度総会

平成16年度世田谷区町会総連合会総会は、平成16年7月28日(水)開催を予定しています。

お悔やみ申し上げます

玉川町会会長

松本 三郎 殿

平成15年6月10日没

野沢4丁目自治会会長

世田谷区町会総連合会

理事

唐牛 健三 殿

平成15年6月27日没

深友会会長

世田谷区町会総連合会

最高顧問

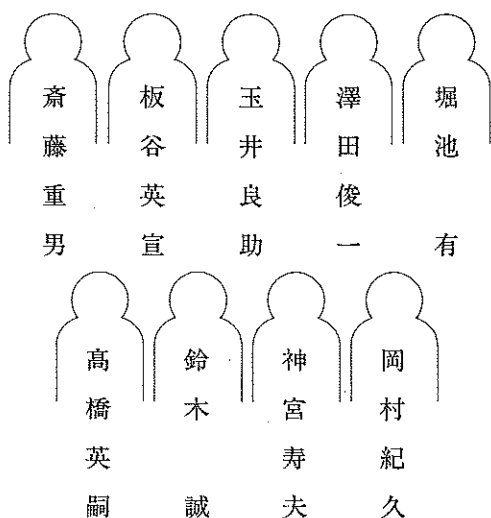
三田 隆真 殿

平成15年10月29日没

町総連情報誌編集委員会名簿

平成15年9月現在

役職	氏名	所属役職	役職	氏名	所属役職
会長	安田 憲吾	松丘町会会長	副委員長	澤田 俊一	喜多見北部町会会長
委員長	鈴木 誠	上北沢1丁目自治会会長	委員	岡村 紀久	野沢2丁目町会会長
副委員長	高橋 英嗣	池尻団地自治会会長	〃	斎藤 重男	玉堤町会会長
〃	堀池 有	桜上水1丁目町会会長	〃	神宮 寿夫	祖師谷千歳台自治会会長
〃	板谷 英宣	奥沢中和会会長	〃	玉井 良助	給田西住宅自治会会長



編集後記

昨年4月に長い間勤めていた大場区長から、「区政の流れを変える」熊本哲之新区長が誕生し、区民の目線に立って「聞く耳を持つ」新区政がスタートしました。今後の活躍を期待するところです。

さて、区政が新スタートを切ると同時に、私たち編集委員にも大幅な交替がありました。また、タイトルの「せたがや町総連だより」を一新し、新しい体制のもと編集しました。

その一端として、今回、各地域の情報として、地域での活動を御紹介していきます。

近年、犯罪が多発し、多くの町会・自治会でも安心安全を願い、「守ろうよ、

私の好きなまちだから」をスローガンに防犯パトロールが実施されています。

また、若者が一度は行ってみたい「まち」下北沢が、今や社会問題となっている街の落書きで汚されました。

ついに、「落書き消し隊」が組織され、明るい街づくりのために、努力されていることは、テレビで話題になり、ご覧になった方も多いと思います。

町会・自治会の役割は、そこにあるものと強く感じました。

一度は住んでみたい「世田谷」を一日も早く取り戻したいとの願いは、会員皆様の想いであります。

これまで以上に、「町総連だより」が会員の皆様に読みやすく、かつ、適宜適切な情報が満載されるよう編集委員一同努力してまいります。

編集委員長 鈴木 誠